



# 議 会 だ よ り

みとよし  
三豊市



<http://gikai.city.mitoyo.lg.jp/>

8  
2019年  
月号

No.32

## 6月定例会

- ② 議会報告会
- ⑦ 一般質問
- ④ 議案報告
- ⑩ 常任委員会
- ⑤ 審議結果
- ⑩ 学校紹介
- ⑥ 議員研修会

## 議会報告会

5月11日～6月11日開催  
(詳しくは2・3ページ)



比地二スポーツ少年団

# 議会報告会を開催しました

開かれた議会をめぐり

22日間にわたり 市内26カ所で開催

議会の活動や、議会としての意思決定の内容を市民の皆さまにお知らせし、市民の皆さまからのご意見を議会活動に反映させることを目的に、今年も議会報告会を行いました。

議員が5つのチームに分かれ、5月11日から6月1日までの22日間にわたり、市内26カ所で開催。各会場で貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

会場での質疑の内容については、次号、議会報告会臨時号にて、詳しくお知らせいたします。



皆さまのご参加ありがとうございました!!!

## 開催場所別実施状況 462人参加

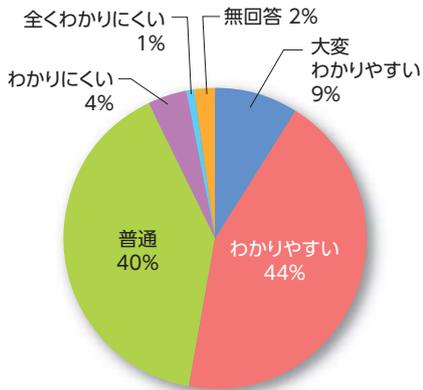
町	地区	参加者数	前年度参加者数	開催日	場所
高瀬町 人口15,254人	上高瀬	28	24	6月1日(土)	上高瀬公民館
	勝間	12	10	5月11日(土)	勝間公民館
	比地二	14	14	5月12日(日)	比地二公民館
	二ノ宮	7	14	5月16日(木)	二ノ宮公民館
	麻	19	11	5月26日(日)	麻公民館
山本町 人口6,747人	辻	22	18	5月14日(火)	辻公民館
	河内	16	13	5月15日(水)	河内農村婦人の家
	大野	37	60	5月16日(木)	財田大野農業構造改善センター
	神田	21	12	5月13日(月)	神田定住促進センター
三野町 人口9,458人	大見	14	15	5月14日(火)	大見公民館
	下高瀬	16	10	5月18日(土)	三野町社会福祉センター
	吉津	28	20	5月15日(水)	吉津公民館
豊中町 人口11,398人	桑山	14	16	5月16日(木)	豊中町公民館桑山分館
	比地大	17	18	5月17日(金)	豊中町公民館比地大分館
	笠田	10	18	5月13日(月)	豊中町公民館笠田分館
	上高野	7	14	5月14日(火)	上高野文化センター
	本山	5	8	5月15日(水)	豊中町公民館本山分館
詫間町 人口13,283人	松崎	23	10	5月14日(火)	松崎コミュニティセンター
	詫間	20	14	5月13日(月)	マリンウェーブ
	大浜	10	12	5月15日(水)	荘内浦島出張所
	箱	7	16	5月16日(木)	箱浦ビジターハウス
	粟島	8	20	5月18日(土)	粟島総合開発センター
仁尾町 人口5,817人	仁尾	66	28	5月22日(水)	仁尾町文化会館
	曾保	21	9	5月21日(火)	曾保小学校体育館
財田町 人口3,863人	財田上	13	6	5月17日(金)	財田町公民館
	財田中	7	11	5月18日(土)	財田B&G海洋センター
	合計	462	421		

※人口は、H31.3.1現在の住民基本台帳人口

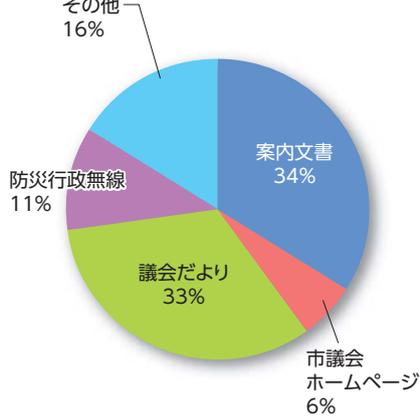
# 報告会はいかがでしたか？ アンケート集計結果

参加者462人のうち、436人にアンケートの回答をいただきました。

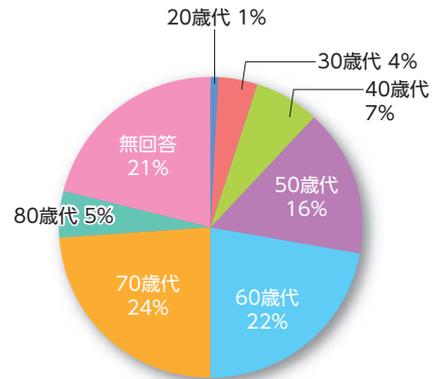
内容はどうでしたか？



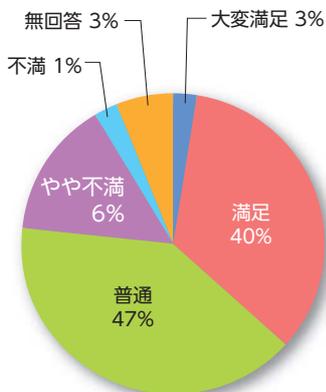
報告会をどのようにして  
知りましたか？



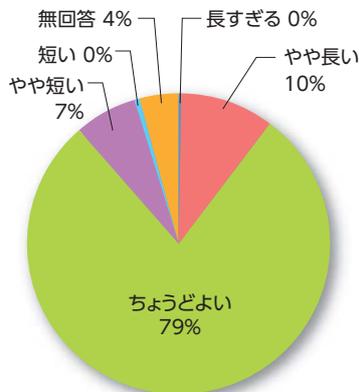
参加者の年齢層について



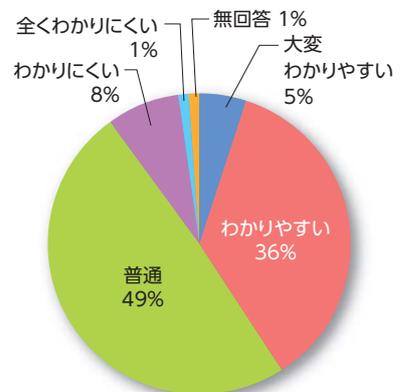
報告会全体としての  
満足度は？



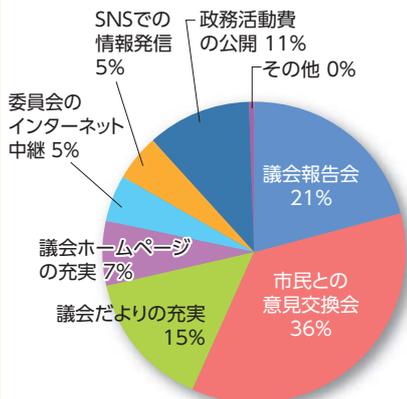
報告会の時間は？



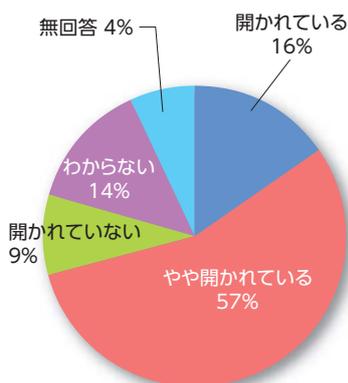
資料等はどうでしたか？



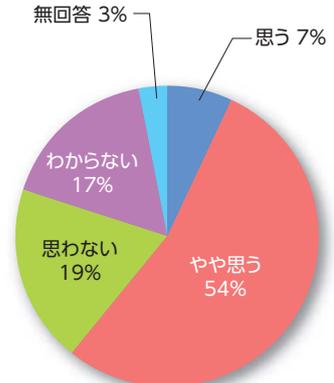
「開かれた議会」を目指して  
何に取り組むべきだと思いますか？



「開かれた議会」だと  
思いますか？



あなたの意見や市民の声が  
市政に反映されていますか？



今定例会では次のことが決まりました

- 専決処分の認定…………… 2件承認
- 令和元年度補正予算…………… 4件可決
- 条例に関する議案…………… 2件可決
- その他市長提出議案…………… 5件可決
- 人事案件…………… 3件同意
- 請願…………… 1件継続審査
- 議員派遣…………… 1件可決

この中から、議案をピックアップしてご紹介いたします。

## 令和元年 第2回 定例会の概要

【会期 6月3日～6月21日(19日間)】

議案  
Pick Up

議案 第 55 号

令和元年度  
三豊市  
一般会計補正予算  
(第1号)

可決

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ7億9,783万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を37億6,783万7千円とする補正予算が提案されたもの。

事業内容をいくつかご紹介します。

### プレミアム付商品券事業

消費税率の引き上げが消費に与える影響を緩和すること等を目的として、低所得者及び子育て世帯を対象に国のプレミアム付商品券事業を実施するための補正

### ため池ハザードマップ緊急支援事業

国の追加割当を受け、ため池の防災対策事業として実施するハザードマップ等作成業務に係る増額分についての補正

### 公有財産管理事業

詫間支所等仮移転に伴う移転費用及び移転先改修工事に必要な補正

### 企業立地促進事業

民間企業が実施する土壌汚染状況調査等に対する経費の一部を補助し、企業立地の実現に向けて、側面支援を行っていくために必要な補正

補正

## 可決 令和元年度補正予算

○一般会計	797,837千円 増 33,767,837千円
○介護保険事業特別会計	2,189千円 増 8,062,189千円
○介護サービス事業特別会計	3,421千円 増 100,421千円
○病院事業会計	8,649千円 増 2,177,626千円

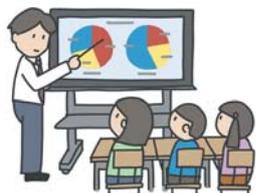
議案  
Pick Up

議案 第 62 号

財産の取得について  
(三豊市学校ICT機器電子  
黒板・プリンター等)

可決

各小中学校に電子黒板等を整備し、積極的にICT機器を活用し、学習活動の充実を図るに当たり、今年度調達する機器に係る売買契約を締結したため、三豊市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議案に議決を求められたもの。



## 人事案件 (敬称略)

### ○三豊市農業委員会委員の任命

石井 徳和 (高瀬町上勝間)

### ○三野町大見財産区管理委員の選任

齋藤 満徳 森 義訓 宝城 明  
 大平 建一 多田 のぶ子 香川 秋訓  
 岩田 秀樹

### ○三野町下高瀬財産区管理委員の選任

関 隆夫 関 博 関 正男  
 丸岡 英明 真鍋 俊一 山下 勇  
 石井 勢三

## 議員派遣

議員派遣について、議決を得るもの  
 ・三豊市議会議員研修会

## 永年勤続表彰

町議会議員歴の2分の1を勤続年数に通算

### 全国市議会議長会 特別表彰

◆20年以上議員表彰

横山 強  
 為広 員史  
 瀧本 文子

### 四国市議会議長会 特別表彰

◆20年以上議員表彰

横山 強  
 為広 員史  
 瀧本 文子

◆16年以上議員表彰

横山 強  
 為広 員史  
 瀧本 文子

## 令和元年第2回(6月)定例会 審議結果

### ■全会一致の議案

議案名等	議決結果
専決処分の承認を求めることについて (三豊市税条例等の一部改正)	原案承認
専決処分の承認を求めることについて (三豊市市営住宅設置及び管理条例の一部改正)	原案承認
令和元年度三豊市一般会計補正予算 (第1号)	原案可決
令和元年度三豊市介護保険事業特別会計補正予算 (第1号)	原案可決
令和元年度三豊市介護サービス事業特別会計補正予算 (第1号)	原案可決
令和元年度三豊市病院事業会計補正予算 (第1号)	原案可決
三豊市税条例の一部改正について	原案可決
三豊市介護保険条例の一部改正について	原案可決
財産の取得について (三豊市情報システム機器)	原案可決
財産の取得について (三豊市学校ICT機器電子黒板・プリンター等)	原案可決
財産の取得について (三豊市学校ICT機器無線アクセスポイント等)	原案可決
財産の取得について (消防ポンプ自動車CD-1型)	原案可決
工事請負契約の変更契約の締結について	原案可決
三豊市農業委員会委員の任命について	原案同意
三野町大見財産区管理委員の選任について	原案同意
三野町下高瀬財産区管理委員の選任について	原案同意
三豊市詫間地区の再開発及び整備促進に関する件	継続審査
議員派遣について	可決

## 議員研修会

# 議員提案政策条例のポイント



関東学院大学 法学部  
地域創生学科准教授

牧瀬 稔 先生

《専門分野は、自治体政策学、地域政策、地方自治》

地方分権の進展などにより自治体の責任領域が拡大する中、地方議会の責任と役割はますます大きくなっており、議会が住民ニーズを的確に捉えてこれを市政に反映するためには、執行部に対する政策提言や条例の提案など、政策立案機能の強化が重要になってきています。この現状を踏まえ、今後の議会からの政策立案の参考とするため、議員提案政策条例のポイントについて、議員と法令担当の市役所職員を中心とした研修会が行われました。

講師には、自治体政策学、地域政策、地方自治の専門家で、数多くの市の、政策アドバイザーとして関わり、多くの市議会の議員提案政策条例を把握、立案のための後方支援をされている、関東学院大学法学部地域創生学科の牧瀬稔准教授をお招きし、**【議員提案政策条例のポイント】**と題して講義いただきました。

### ① 議会の役割

(一般的に言われる) 議会の役割とは、議会には大きく2つの機能が求められている。

#### ◆ 執行機関の監視機能

2019年にNHKは全国の地方議会に「昨年一年間に執行部が提案した議案が否決されたことはありましたか」という質問を投げかけている。その結果、都道府県議会は2議会(4%)、市区町村議会は201議会(11.5%)であった。

#### ◆ 政策の立案機能

また、政策立案機能も健全な状態とはいえない。

朝日新聞の2019年度調査によると、2015年度から4年間に議員提案政策条例を実施したのは14%であった(2015年調査(15%)、2011年調査(9%)となっていた)。それゆえ、議員提案政策条例も拡大していく傾向が見られない。



風景聴講

これらの役割を果たしていないことが一つの理由となり、住民の議会への不信感が増している。ただ想定される役割を發揮していない議会が多い一方で、①執行機関の監視機能を強化、②積極的な政策条例の提案を実現している自治体議会もある。これらが議会本来の役割でもあって、住民の福祉(幸福感)の向上へとつながっていく。

### ② ユニークな条例の紹介

地方分権一括法により、国と地方

の関係は「対等・協力」へと変化した。その結果、地方独自の条例が登場しつつある。

ユニークな条例とは「他地域にみられない、当該地方自治体の地域性や住民性、空間的特徴などを考慮したり、当該地方自治体の特有の問題に対処した条例」と定義できる。

「次の条例は全国であると思いませんか」という牧瀬先生からの問いかけで、全国のユニークな条例が紹介された。

- ・自分の雪は自分で処理する条例(○)
- ・絵文字を入れた条例はあるか?(○)
- ・カラスに餌をあげたら氏名公表(○)
- ・自治会加入条例(×)
- ・休肝日条例(×)

#### おわりに

現在は地方分権の時代であり、地方自治体は地方政府に変貌していくことが求められる。議会には、ますます政策立案機能が求められてくる。

牧瀬先生の講義を聞いて、議員提案政策条例が身近に感じられ、議員提案政策条例が思っていた以上にハードルが低く感じられました。三豊市議会としても議員提案政策条例に前向きに取り組み、議会力の強化につながればよいと感じる、とても参考となった研修会となりました。

6月定例会では、6月6日、7日、10日の3日間、14人の議員が一般質問を行いました。質問順に要旨を掲載します。原稿は質問者本人が書いています。

# 一般質問



**湯口 新**  
議員

## 子育てしやすい環境づくりについて

**問** 子育て支援センター高瀬の仮移転は子育て中の利用者にとって親切ではなかったか。

**答** 安心・安全を最優先に一時移転を判断した。

**問** 新たな支援センターの整備は。

**答** 子育て支援機能を集約した多機能型子ども支援拠点施設として整備を進めたい。

**問** 保護者の意見を聞くためのワークショップや意見交換会を市長もご参加いただいて開催しては。

**答** 保護者や子育て世代、関係者との意見交換は大賛成。進んでやりたい。



▲ランドデザインで発表された新しい子ども支援拠点施設を含むイメージ図

## 市民公園の整備について

**問** 多くの世代に使いやすい公園の整備は。

**答** 利用者のニーズを踏まえながら新しい時代の公園のあり方を検討する中で、幼児用のトイレ、手洗い場の整備や休憩エリアなどの整備を進めていきたい。

## 空き家対策について

**問** これからの空き家対策は、空き家を老朽化・危険化させないために先回りした対策が必要。市としての現状と対策は。

**答** 近年の家族形態の変化や少子化、人口減少により空き家自体の増加を抑制するのは困難。空き家を放置し、老朽危険空き家とならないよう個人の責務による適切管理と有効活用に対する意識をさらに強化、熟成させる。

## 要望書の取り扱いについて

**問** 要望書の取り扱いについてのマニュアルや管理体制はどうなっているのか。市民への回答に関するルールはあるのか。

**答** 要望書の取り扱いについては部署によってマニュアルがある部署とない部署とがある。今後は各部署において各業務に応じた要望書の取り扱いや回答のルールを定めたマニュアルを早急に作成するよう指示する。

**問** 市民がわかりやすいよう回答の期限も設けては。マニュアルに回答期限を盛り込むよう指示する。

**横山 強**  
議員

## 新永康病院建設に向けて

**問** 新設場所にした経緯を伺う。

**答** 建設場所については、昨年4月、最高意思決定機関ともいえる部長会で検討した結果の報告を受け、私が入会し、執行部として意思決定を行った。

**問** 市長は新設場所をあらゆる面を総合的に判断し、決定したなかで、新設場所は、盛土で、下層部は沼土質で、地震が発生すれば液状化等、津波が発生すれば周辺は冠水により、各町から被災患者を搬送とするアクセスが遮断されると、緊急医療としての機能が作動するの。

**答** 新病院建設場所は幹線道路沿いに位置し、利便性の向上が期待できるものの、一方では議員ご指摘のように災害対策の観点からみれば、地震発生に伴う津波や液状化等、また入院患者の避難や傷病者の受け入れ態勢の樹立など対策を講じていかなければならない課題があることは十分承知している。

**問** 新設場所は高台に建設すること  
が地震、津波等発生した時患者の命を守るべき医療機関のあり方である。過去の東日本大震災で立証されているのに、三豊市政は逆行している。新設場所を再度見直し、現在

の高台とした永康病院場所建設すべきではないのかを伺う。

**答** 新永康病院の建設は、現在の高台である永康病院の場所に建設するべきではないのかについては、今回の一般質問を受け、私自身防災対策の重要性を再認識した。執行部としては、議員同様不安を持たれている市民の皆さまがおいでのも事実だと思つので、津波、液状化等に対する対策は、確実に講じていくことをしっかりと説明申し上げる。



▲南海地震で津波により冠水・液状化となりうる場所を部長会で提案し市長が受け入れた危険な場所とした新永康病院新設場所





金子辰男  
議員



**農地、山林、家屋はもらっても負担となっている時代について**

**問** 利活用見込みのない土地を、所有者が適切に手放せる方法や選択肢はないのか。

**答** 地域の財産である農地を守り、有効活用しながら後世に引き継いでいこうと支援している。

**問** 不要になった土地の維持管理、どのように取り組んでいくのか。制度の構築について問う。

**答** 耕作放棄地対策として、農地中間管理機構、農業経営基盤強化促進法を利用した農地の有効活用、荒廃農地等を増やさない対策として、中山間地域等直接支払制度、多面的機能支払制度、荒廃農地等利活用促進事業等を行っている。



▲拡大している耕作放棄地

**問** 水路、農道等、不便な農地、生産性の低い農地の対処はどうか。

**答** 集落営農組織などによる、不便な農地を含めた広範囲を一括して管理していく必要がある。

**山本小学校の通学路の安全確保、安全対策などについて**

**問** 開校して四年目。通学路の危険箇所、毎年同じ所が指摘されている。状況と対策を伺う。

**答** 本年度は元大野小から豊中方面を整備、樋盛橋付近、河川改修と一緒に。早急な整備要望を西讃土木事務所に求めていく。

**問** 三豊市全体の通学路の安全は、至急対応を必要とした場合、保護者の対処方法は。

**答** 総合的な交通安全施策は総務部、通学対策は教育委員会、道路の維持管理は建設経済部、それぞれが担当部局である。緊急を要する時は、どちらの部局でもよい。各課連携を密にして担当部局への情報提供をし、現地等の確認を行い実効性のある対応策を検討し、早期改善に取り組む。



▲財田西豊中線と祇園橋通り線の三差路



田中達也  
議員



**地域事業者へのキャッシュレス決済浸透策**

**問** 国のキャッシュレスビジョン、消費者還元事業、インバウンドに対応するためには、市内事業者のキャッシュレス決済対応が急務。どのような対策を行うのか。

**答** 三豊市ホームページに本事業の概要を掲載しているほか、三豊市商工会と連携したセミナーの開催や、パンフレットを通じた情報提供を行う。本市独自の事業の検討も行う。



▲キャッシュレス決済

**みとよクエストの結果と今後の活用**

**問** スマートフォン用周遊アプリを活用した取り組みとして、注目している。成果分析は。

**答** 多種メディアでの発信により知名度向上、参加者1人当たりの消費額増加等の効果がみられる。

た。事前の周知に課題。アプリのバージョンアップが必要。

**問** 事業への参加人数をどうとらえているか、また瀬戸芸での目標設定は。

**答** アプリ登録者数には手ごたえを感じているが、プレゼント応募者は想定より少ない。瀬戸芸では目標登録者数を2倍とする。

**問** アプリはウェブアプリからネイティブアプリに変えるべきではないか。

**答** 優位性は認識しているが、短期間での開発や、開発費の制約で移行は難しい。

**問** 周遊の取り組みは、イベント期間のみに限るべきか。

**答** 予算年度主義の制約がある。民間事業者への進展も可能な仕組みであると考える。

**昨年の避難指示の結果と今年度の対策**

**問** 平成30年7月豪雨災害で発令された避難指示について、県のアンケート結果を受けての今年度の対策は。

**答** すぐに避難行動をとらなかった市民が非常に多い。香川大学を招き、アンケート調査結果に基づいた防災研修会の開催を検討する。防災情報と警戒レベルとの関係を明確化し、避難行動が容易にとれるよう防災情報をわかりやすく提供する。



丸戸研二  
議員



**荒廃竹林の増加と土砂災害の防止について**

**問** 香川県でも集中豪雨が発生するようになった。一方、竹林の荒廃化が進んでおり、土砂災害の危険性が高まっている。災害を防止するため、治山事業と竹林の増加を食い止める事業に取り組めないか。

**答** 治山事業という大きな流れの中で、スピード感を持って取り組みたい。予算確保についても、県への要望を行い、早い段階で国への要望も行いたい。

**スポーツ振興と地域活性化について**

**問** スポーツ振興課の設置意義は。

**答** 三豊の地からオリンピック選手とかプロ選手を輩出するくらいレベルのものを、子どもたちにも選択肢として与えたい。また、市民にさまざまなスポーツに取り組んでいただくことにより、健康寿命を延ばすための環境を整備するという思いである。

**問** 来年は東京オリンピック・パラリンピックの開催年である。スロースポーツ文化推進条例のような規範を整

備してスポーツ振興に取り組んでほしいか。

**答** 子どもたちに、三豊に生まれは言えない。そのためにも、スポーツ、文化両面を力バーする条例の制定に取り組む。



▲スポーツ振興施策の拠点として整備が予定されている緑ヶ丘総合運動公園

**小規模ため池の整備について**

**問** 市内の未整備ため池の数は把握しているのか。

**答** 市内には約2,900カ所のため池があるが、未整備ため池の数は把握できていない。

**問** 未整備ため池の計画的な整備にどう取り組むのか。

**答** 国、県と協議を重ね、1年でも早く事業着手ができるよう取り組む。

**問** 原材料支給事業および市単独土地改良事業の見直し時期は。

**答** 消費税の改定（10月1日）に合わせて見直しを行う。



為広員史  
議員



**役目の終了した公共施設の取り壊しについて**

**問** 市内には役目を終了した施設が多々あるが、今回は三豊クリアプラザについて伺う。平成26年6月30日付けで休止届を提出し、業務を停止しているが過去に重大な事故を起こした経緯もあり、危険施設の一つでもあると考えられる。現在どのように管理され、費用はいくらかかっているのか。今後、取り壊しについてはどのように考えているのかをお伺いする。



▲三豊クリアプラザ

**答** 施設の年間維持管理費は、地下水槽の管理・緑地部分管理について業務委託に200万円と環境衛生会館維持管理費である。取り壊しの予定については、現在具体的には決まっていない。今後、施設の取り壊しも含め所管の委員会

に諮っていく。

**問** 市民の大切な税金を使用しているのだから早急に検討してほしい。

**答** 処理棟、管理棟、環境衛生会館等、施設がある。使用用途で計画されており、地元地域の方々の協議も必要だが総務委員会で検討し、速やかに処分を進めていく。

**火葬場の休場日について**

**問** 南部・北部の2火葬場があるが、同じ日に休場日を取るため、その日に葬儀を迎えた市民は大変不便を被っている。建設時には市民の利便性を考えて、2カ所に設置したと聞いている。休場日をずらすことはできないのかをお伺いする。

**答** 利用者の意見の把握に努め、市民の意向が反映されるよう考えていく。

**問** 先ほど香川県下の状況もお聞きしたが、あくまでも三豊市は三豊市民の利便性を優先するべきだと思つ。現に観音寺市では無休で運営している。市民からは休場日をずらすのではなく無休にするべきだとの意見も出ている。できるだけ早い実施をお願いする。

**答** 運営・休場についても市民建設委員会にお諮りさせていただく。



瀧本文子  
議員



## 男女共同参画推進ネットワーク会議 人権課に移管・補助金廃止について

**問** 今年度より政策部から市民環境部人権課に移管された理由は。また打ち切りとなった補助金はぜひ継続してもらいたい。

**答** 男女共同参画社会の推進は、ダイバーシティ社会を目指す包括的な人権問題、と捉え人権課に移管した。今まで以上の取り組みに努力していきたい。補助金は、行革による見直しで廃止となったが、今後より効果があるものを含め協議していきたい。

## 性の多様性の尊重・ パートナーシップ制度について

**問** 制度導入に向けた取り組みは。

**答** 庁内研究会を行い、導入後の行政サービスや窓口対応などの研究を進めている。人権擁護審議会等にも諮りながら年度内の制度導入を目指す。また、当事者の方との意見交換、企業・市民・職員対象の研修会や啓発活動を進め、理解の促進を図る。

## 豊中幼稚園の送迎バスの廃止および 幼稚園の分園化について

**問** 248人が在籍するマンモス幼稚園であり、駐車場は狭くピーク時は接触事故を起こしかねない状況。廃止すれば以上に混雑し、預かり保育も厳しくなる。大切な園外活動もできなくなる。バス廃止で本当に公平性が保たれるのか。また人数が多いことで保育の質の格差は歴然としており、幼稚園の分園化は避けて通れない課題である。

**答** 特に懸念される月曜の雨の朝の混雑状況を調査する。バス利用者への説明・聞き取りを進める。幼稚園は保護者送迎が基本で、送迎のみに着目すれば、豊中の運行は公平性に欠けている。園外保育はバス継続も検討したい。分園については就学前教育保育検討委員会でも議論していきたい。



水本真奈美  
議員



## 障がい児と保護者への支援について

**問** ①就学前の医療的ケア児の保育ニーズ②障がい児放課後等デイサービスの現状と対応について。

**答** ①25年度に経管栄養が必要な医療的ケア児の入所事例があり来年度1人の入所希望の相談を受けている。看護師資格の人材確保、保護者や医療機関との協議を重ね、適切に対応する。②事業所が2カ所で定員20人中、約60人の児童生徒が希望し、厳しい状況が続いている。事業所従事者の資格要件の緩和、報酬単価の改善等について全国市長会を経て国へも要望していく。

**問** 障がい児やその保護者への切れ目のない支援を推進していくには。

**答** 子育て世代包括支援センターにおいてワンストップで妊娠期から子育てサービスの包括的なマネージメントを担い、支援が途切れないように支援台帳の整備や相談支援の充実、情報提供など寄り添った支援体制を整えていく。

## 食品ロス（まだ食べられるのに廃棄される食品）削減について

**問** 28年度国の食品ロスは643万トンで半分は事業所の流通販売

の中での規格外品や売れ残り、外食での食べ残しなどで起き、もう半分は家庭での食べ残し、過剰除去、直接廃棄で食品ロスが起きている。国は持続可能な開発計画SDGsを踏まえ、事業所、家庭から食品ロスを半減するとの目標が定められた。

①本市の現状②市民、事業所に向けた推進③子ども食堂の取り組みについて。

**答** ①家庭・事業所で相当量の食品ロスが発生していると思われる。②食品ロス削減推進計画の策定を検討するとともに消費者・事業所の連携協力による食品ロス削減の知識向上および普及啓発を推進していく。③子ども食堂は子どもの居場所づくりのほか、高齢者等の交流拠点として期待され広がっている。社会福祉協議会と連携し、子ども食堂の開設および安全安心で継続的な運営の実現に向けて検討していく。



▲まだ食べられるのに廃棄された食品

## その他の質問

○本市オリジナルの観光情報カードを作成し、観光振興につなげる考えについて

※ダイバーシティ…多様な人材を積極的に活用しようという考え方

※SDGs…持続可能な開発目標の略

2015年に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた国際社会共通の目標



高木 修  
議員



都市計画事業について

**問** 予算に都市計画区域再編に関する計画

策定費用が盛り込まれ、いよいよまちづくりがスタートを切る。市長のまちづくりに対するお考えを伺う。



▲まちづくりの事例『Fujisawa SST(サスティナブル・スマートタウン)』Fujisawa SST 協議会より

**答** まずまちづくりについて、第二次総合計画に示したように、これまでと同様、多極分散の地域拠点を結びネットワーク型のまちづくりを目指していく。「フロン」とよみ、心つながる豊かな「実感都市」の実現に向け、各地区の個性やコミュニティを大切にしながら、人と自然を軸としたまちづくりに目指したい。

淡水化プラントの導入について

**問** 淡水化プラントは、特に工業用水の不足に対応する新たな水資源確保の切札と考えられる。现阶段での検討状況と導入の方向性について伺う。

**答** 工業用水道の整備において、海水淡水化による水資源確保は検

証すべき案件として、調査を行った。実績のある企業に費用の試算を依頼したが、どこからも膨大な費用が必要との答えが出ている。国内でも工業用水として海水淡水化事業を行っている事例はないが、将来的には有効な手段なので、今後もあらゆる可能性について検討したい。

定住促進について

**問** 定住促進策についてはさまざま手段が考えられるが、キーポイントは「仕事」であると考えられる。企業立地促進や就労機会の確保などの取り組みについて伺う。

**答** 第二次総合計画においても企業立地支援の充実を掲げている。本年度から、企業立地奨励金制度について、助成対象の拡大や助成額の拡充を図った。また、現在ハローワーク観音寺との連携協定締結を協議している。

観光振興について

**問** 紫雲山、父母ヶ浜などの観光スポットが大人気で、来訪者が急激に増加している。増加への対応が急務だが、お金を落とすしてくれる仕掛けづくりも重要である。「観光の産業化」の取り組みについて伺う。

**答** シーズン、紫雲山の桜にウィークにも4万人のお客さまに来ていただき、瀬戸内を代表する観光スポットへと成長した。飲食サービスや宿泊施設不足は大きな課題となっているが、観光産業を軸とした設備投資が進んでおり、地域経済の好循環が生まれつつある。今後も、事業者の求める事業環境を検証しながら支援していく。



込山文吉  
議員



バリアフリー化の進捗状況

**問** 公共交通機関のバリアフリー化の進捗状況・公共施設のバリアフリー化進捗状況と課題について聞く。

**答** コミュニティバスの車両へのバリアフリー対応については、運行車両14台のうち3台を配置し、21.4%の整備率。車両更新計画により4力年で実施していく。市内の駅は高齢者や障がい者にとって非常に利便性が高い状況である。改善を運行事業者のJR四国に対して求めている。公共施設や歩道等のバリアフリー化は軽微な対応はあるが、移動の連続性の確保には至っていない。将来のまちの姿を見据え、マスタープランの策定に向け準備を進める。

重点道の駅『たからだの里さいた』

**問** 重点道の駅の認定を受けるに当たり掲げた企画事業の推進状況、展望とその課題を聞く。

**答** 道の駅だからの里さいたは、移住促進などの取り組みが期待できるとして平成28年1月27日に重

点道の駅に選定された。体験型観光商品の造成など、民間事業者との協働が必要であると考えている。道の駅の施設を利用した移住相談窓口の設置先、移住者との交流会の開催など協働していく。今後機能を強化し中山間地域の交流拠点として、持続可能な仕組みを実現していきたい。

三豊市立学校再編整備について

**問** 学校再編整備基本方針で、中学校は答申重視とのことだが、クラブ活動、施設更新などの課題が山積していると認識している。答申重視となった経緯を聞く。

**答** 中学校再編の必要性は感じている。生徒数等の現状や将来的予測を検証し、適正規模・適正配置について、再度の諮問・答申も含め考えたい。



▲バリアフリー化が待たれる高瀬駅



近藤 武  
議員



**三豊市における今後の移動手段について**

**問** 免許を持たない市民の移動手段はコミュニティバスやタクシー等になっている。地方弱者対策などが問題となっている中で、施政方針の「その拠点を結ぶ移動手段の確保や離島航路など、本市にある地域交通政策と課題を洗い出し、その解決に向けた取り組みを進めます。」について、どのような施策が進んでいるのか。



▲早く三豊市で走ってほしい自動運転のバス

**答** 移動手段の確保については、MaaS\*（モビリティ・アズ・ア・サービス）と呼ばれ、サービスとしての移動という新しい概念で、

既存の交通体系の見直し、既存交通のさらなる活性化が推進されようとしており、地域交通に関する官民連携のプロジェクトを立ち上げ、複数の民間企業にそのノウハウや専門的見地からの意見を賜っている。高齢者や移動困難者にとつての生活面における交通や具体的なモビリティサービスの在り方について協議を進めている。

## その他の質問

- 三豊市の今後のまちづくり
- SIB（成果運動型民間委託）
- 消防団の火災時活動
- 人口減少対策
- 中学校性教育



▲消防団林野火災消火活動



西山彰人  
議員



**地球温暖化に対する危機感**

**問** 地球の温暖化は人間の生活や経済活動により起きていて、二酸化炭素が増えることにより起きていて、異常気象が異常といえないほど頻繁に起き、海面が上昇し、南海の国々は国土消滅の危機に瀕している。このことを危惧し若者のデモが発生している。一方、アメリカは温暖化対策の国際的枠組みから離脱するなど、政治が危機を認識するかどうかが、教育に取り組むかどうか、危機を理解することに関わるのは間違いない。クールビズは危機を訴える手段にすぎない。危機に対する市長の考えと市民への訴えについて伺う。

**答** 循環型環境都市の実現を目指す本市としては、三豊市エコ



▲地球温暖化対策の事業が進む、三豊市庁舎

オフィス計画の改定を行い、さまざまな事業を実施して、市民、事業者とも連携し、温室効果ガスの削減を図っていききたい。温暖化対策について市民にPRしていく。

**生徒に対する、学校、保護者の役割**

**問** ゲーム・ネット依存症をはじめめとして早寝・早起き、朝食を必ず食べる、テレビ鑑賞の時間制限、忘れ物対策などなど、保護者にとつて重荷となっている学校の決まりを、学校、保護者や、子どもが話し合つて作ることができないか。専門家が議論して作る決まりは、保護者にとつて非常に安心感がある。

**答** さまざまな基本的生活習慣の乱れが子どもたちの学習意欲や体力、気力の低下の要因の一つと指摘されてきている。朝食摂取や排便、歯磨き等の生活チェックができるカードを作成し、家庭での指導を支援している。ネット依存症についても「さめきつ子の約束」として家庭に発信し、各学校では独自に決めたルールを家庭に伝え、約束事として全小中学校で取り組んでいる。

## その他の質問

- 職員の職務
- 職員採用時の辞退者の分析

\* MaaS…公共交通か否か、運営主体にかかわらず、マイカー以外のすべての交通手段による移動を一つのサービスとして捉える途切れない新たな「移動」の概念



**介護保険制度の特定福祉用具購入費・住宅改修費実施は「費用立て替えなし」の制度へ**

**問** 住宅改修・福祉用具購入に当たり、現在の「償還払い」から「受領委任払い」に移行し、自己負担のみを施工業者に支払い、申請審査後に市から残りを施工業者に支払う制度で、立て替えなしの制度を求める。

**答** 「受領委任払い」の実施については、事業者の同意も必要となる。利用される方は、「償還払い」と併せて「受領委任払い」を利用者の希望により選択できるように、来年度からの実施に向けて準備を進める。



▲住宅改修費支給のモデル

**後付アクセルとブレーキの踏み間違い防止装置の補助制度創設**

**問** アクセルとブレーキの踏み間違いの重大事故が多発している。

県は新車のみASV（先進安全自動車）補助制度がある。メーカーも宣伝を開始し、東京都も補助制度の導入を検討（その後導入決定）、導入済みの自治体もある。

**答** 悲しい事故が発生する可能性を少なくする取り組みが必要ではないか。後付安全装置は、使用時の効果や注意点等を客観的に評価、結果をユーザーに提供する目的として、昨年度性能評価制度が創設された。国の動向を注視し、自治体として何ができるか検討したい。

**基本方針は、東日本大震災発生後どう変わったか**

**問** 三豊市立学校再編整備基本方針（第2〜4期）が出された。震災発生後「今回の震災で、地域における学校の重要性が再認識された。」「今後の学校施設の整備にあたっては、防災機能の強化に加え、・・・（中略）学校の機能強化を図っていくことが重要である。」とある。どう生かされているか。

**答** 学校再編は児童生徒数の推移と将来推計に基づき、教育的観点から取り組むものである。

その他の質問

○公園の設置について  
○非核平和都市宣言の決議にふさわしい市の継続的な取り組みについて



**ふれあいパークみの民間業者への指定管理委託5年間、本当に大丈夫か**

**問** 25年間、官民共同出資経営だったふれあいパークみのを、この4月より宿泊・温泉等の経営実績の無い民間業者に委託したが、多面的にサービスの低下が起きている。県内でも優れた施設だが、唯一の応募だったこの業者で5年間維持できるのか。

**答** 公募で選定を経て、議会の議決をいただいたいて、4月より施設運営を始めている。指定管理者は、今は「切り替え」時で大変だが、6月から新たなサービスで自力で稼ぎ、市の補助金に頼らない姿勢でやっていく。

**マンモス（豊中）幼稚園スクールバスの廃止理由、「公平性に欠ける」等を聞く**

**問** 来年3月末で同園のスクールバスを廃止すると昨年末、保護者に通告した。保護者から多数の反対意見が出たが、それでも廃止か。豊中園だけの運行は「公平性に欠ける」が教育委員会の見解だが、公平性とは何か。

**答** 登園時の渋滞が緩和され、バス利用者も減少。幼稚園の登園降園は、保護者送迎が基本だ。通園支援のみに着目すれば公平性に欠けるとの認識だ。

**問** バスは一カ所に統合時の条件で配備。渋滞緩和は後付け理由では。保護者送迎が基本とは、法令に無い。県内有数のマンモス幼稚園で園外保育にも、幼児仕様のスクールバスは欠かせないし、送迎の運転手は、防犯上も園の用務員としても貴重な働きになっているし、処遇に問題があるのでは。

**答** 配備理由は再度調べる。送迎は、基本というよりお願いだ。園外保育には、残してほしい声は多い。予算等含めて検討する。安全上は保護者で。

**問** ごまかし等で保護者に圧力かけないで保護者の意見を聞いては。

**答** 保護者の意向も協議、話し合う。議員指摘の点も合わせて話し合う。



▲園児の送迎等で利用するスクールバス

その他の質問

○本格的「ゲーム依存症」対策を

6月定例会では、各委員会に議案が付託され、その審査の経過や結果が、本会議で報告されました。委員会での審査内容を掲載します。

# 委員会審査



## 総務常任委員会

6月13日開催の総務常任委員会には、3議案及び請願1件が付託され審査した。

### 主な質疑と答弁

#### 令和元年度一般会計補正予算関係部分

**問** マリンウェブの改修について、詫間支所の備品や書類が収納できるのか。

**答** 事前に調査しており問題ない。

**問** 高瀬駅駐輪場の仮設工事の完成予定時期と利用者に対する周知方法は。

**答** 完成予定時期は8月下旬、利用者への周知は、張り紙等により行う。

#### 財産の取得について（三豊市情報システム機器）

**問** 一般業務用のモバイルパソコンおよび学校のノートパソコンは、今回全部更新するのか、一部を更新するのか。

**答** 今回の更新は一部であり、一般行政事務用は全体で約1,100台中150台を、学校用は約600台中255台を更新する。

**問** 今回更新する150台と255台は、すべて更新する必要があるのか。

**答** パソコンの耐用年数6年という原則で計画的に更新しているが、使用できるものは使用するという運用を行っている。

**財産の取得について（消防ポンプ自動車CD-1型）**



▲パソコンの更新が待たれる学校現場

**問** 購入する消防車両2台の配備先は。

**答** 豊中方面隊本山区と高瀬方面隊麻地区に配備予定である。

**問** 老朽化した消防ポンプ車を計画的に更新するに当たり、以前と同じ型の車両を購入するのか。

**答** 基本的に同じであるが、性能や使い易さは向上している。

#### 請願第1号「三豊市詫間地区の再開発及び整備促進に関する件」

委員会として十分に審査するため、次回定例会に向けて継続審査にすべきとの意見が出され、採決の結果、閉会中の継続審査にすべきものと決定した。

以上、各議案とも慎重な審査により原案どおり、可決した。また、請願については、継続審査とした。

## 市民建設常任委員会

6月14日開催の市民建設常任委員会には、4議案が付託され審査した。

### 主な質疑と答弁

#### 専決処分の承認を求めることについて（市営住宅設置及び管理条例の一部改正）

**問** 移転費用の補助については、仁尾浜団地に限らず、他の市営住宅でも行うのか。

**答** 市営住宅の建て替え等による移転の場合は、他の市営住宅でも補助を行う。

**問** 仁尾浜団地では、着手後に工事内容の変更はなかったのか。

**答** 工事内容などに大きな変更はなかった。



▲改築された仁尾浜団地住宅

**問** 議会を招集する暇がないため専決処分を行ったということだが、安易な専決は慎むべき。

**答** 今後は事前に十分な準備を行い、議会にしっかりとお諮りしたい。

#### 令和元年度一般会計補正予算関係部分

**問** ため池ハザードマップの作成に当たって、進捗状況をどのように報告してもらえるのか。

**答** 作成における具体的な作業工程は決まっていないが、ある程度形になった段階で、適宜、委員会で説明をさせていただく。

#### 市税条例の一部改正について

**問** 単身児童扶養者で非課税措置に該当するものは三豊市で何人いるか。

**答** 児童扶養手当の支給数は、平成30年度末現在で47世帯であるが、そのうち非課税措置に該当する人数については把握できない。



以上、各議案とも慎重な審査により原案どおり承認・可決した。

## 教育民生常任委員会

6月17日開催の教育民生常任委員会には8議案が付託され審査した。

### 主な質疑と答弁

#### 令和元年度一般会計補正予算関係部分

**問** プレミアム付商品券事業の対象者が1世帯2人以上の場合はどうなるのか。

**答** 1世帯2人以上でも商品券の対象となる。ただし、対象者本人が非課税者であっても、住民税課税者と生計同一の配偶者および扶養親族や、生活保護を受けている方については対象とならない。

**問** 来年4月に2つの小規模保育所の開設を予定しているが、市としての議決はいらぬのか。また駐車場の安全性について十分認識しているのか。



**答** 2カ所の事業費は1億4千7百万円で、市負担は1,224万9千円である。現在国の内定通知が来ている状況で、補正予算の議決をいただいた後、本申請となる。駐車場は事業者と十分協議し安全対策を検討していきたい。

**問** 大見放課後児童クラブは2カ所で運営となる。エアコン2台借り上げは、いつから開始するのか。

**答** 利用児童数の増加により場所が狭いため、小学校の空き教室を借りる。エアコンは夏季休暇前に設置する予定である。

#### 財産の取得について（三豊市学校ICT機器電子黒板・プリンター等）

**問** 電子黒板は子どもの視力や脳にさまざまな障害を起こすと言われる。デメリットを認識しているか。

**答** 電子黒板等のICTの弊害については、国・県の動向を注視していきたい。電子黒板の影響について調査したい。

**問** 4千万円を超える内容だが、市内業者の参入は難しいのか。

**答** 金額を細かく分けるとスケールメリットが失われる。一括購入の方が安価で購入できるため。

以上、各議案とも慎重な審査により原案どおり、可決した。

## 議会日誌

5月		6月	
7日	広聴会議 全員協議会 議会広報委員会	3日	本会議諸般の報告、括上程、議案説明 議会広報委員会
13日	瀬戸内海地区議会競艇連絡協議会総会	4日	全国自治体病院経営都市議会協議会総会 本会議（般質問）
16日	教育民生常任委員会	6日	本会議（般質問） 本会議（般質問）
23日	市民建設常任委員会	7日	本会議（般質問） 本会議（般質問）
27日	四国市議会議長会総会 市立病院建設調査特別委員会 議会運営委員会 総務常任委員会 議会運営委員会	11日	全国市議会議長会総会 市議会議員共済会総会 総務常任委員会
29日	議会広報委員会 議会運営委員会	17日	市民建設常任委員会 教育民生常任委員会 議会運営委員会 全員協議会
		21日	本会議表彰・議案審議・採決 全国競艇主催地議会協議会総会 県広域水道企業団議会臨時会
		30日	広聴会議 議会広報委員会 議員研修会 議会運営委員会

## 視察に来て くださいました



4月26日	京都府舞鶴市議会	議会活性化特別委員会
5月31日	香川県議会	文教厚生常任委員会
【議会活性化について】		
4月23日	福島県会津若松市議会	会派 創風あいづ
5月14日	千葉県我孫子市議会	環境都市常任委員会
4月23日	福岡県うきは市議会	議会運営委員会
5月15日	兵庫県川西市議会	総務生活常任委員会
23日	山口県山口市議会	生活環境委員会
21日	沖縄県宜野湾市議会	会派 絆輝クラブ
28日	岩手県宮古市議会	議員（3人）
7月1日	山口県下関市議会	経済委員会
4日	岩手県一戸町議会	議員（全員）

# 学校紹介

## 三豊中学校

### 郷境「希望が丘」に 建つ学校

きる人間の育成」に取り組んでいます。

三豊中学校は、昭和25年4月、三豊郡中部五力村立三豊中学校として開校しました。昭和30年に学校組合立、平成18年に現在の校名になりました。開校以来、学校保健や緑化活動等で全国的な表彰を受けており、「協和、自治自励、勤労」の校訓の下、「自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生

三豊中学校は、「希望が丘」という小高い丘の上に建っています。生徒たちは毎朝、汗をかきながら自転車をこいで坂を上り、登校しています。新体育館も「希望が丘体育館」と呼ばれています。初代の牧野操校長先生が、昭和25年の開校時に「この緑濃い希望の地」とごあいさつされたことが名前の由来だそうです。



学校の正門には、エノキの大樹が立っていて、樹齢二百年を超えています。この木は、郷境の目印として昔の人が植えたもので、エノキは土地の目印として植えられることがよくあったそうです。また、正門前に石碑があり「むかしの三野郡大野郷、豊田郡山本郷の境界線」と書かれています。

昔の地図では、三野郡と豊田郡の境界線が、三豊中学校が今ある位置の上を通っていました。今も、学校の校舎や運動場は、三豊市の住所にあります。南門や希望が丘体育館などは観音寺市にあります。

今、三豊中学校では、議論が活発な道徳の時間や、学校図書館を活用した授業に関する活動がたくさん行われています。また、人権・道徳の日、人権エクスサイズなどにも熱心に取り組んでいます。



▲希望が丘に立つ校舎



▲郷さかい

### 今月の表紙



#### 比地二スポーツ少年団

創部43年を迎えた比地二スポーツ少年団は現在13名の団員で活動中。県大会での健闘が評価され、7月に愛媛県で開催される西日本大会へ出場しました。また9月に開催する主催大会「比地二杯」での優勝を目指し、日々練習に励んでいます。新たな仲間も募集中です！一緒に楽しくソフトボールしましょう！（湯口）

### 編集後記

本年度も議会報告会を開催しましたところ、多くの

市民の皆さまにご参加いただき、厚く御礼申し上げます。また、たくさんの貴重な意見を賜り、市政に反映すべく議論していきたいと存じます。

議会報告会のアンケート等は今月号に掲載させていただきます。次号臨時号で質疑の内容等、改



QRコードを読み取ると、市議会のホームページがご覧になれます

#### 議会広報委員会

- 委員長 市川 洋介
- 副委員長 石井 勢三
- 委員 岩田 秀樹
- 委員 湯山 文吉
- 委員 湯口 新
- 委員 高木 修
- 委員 近藤 武



この広報紙は、古紙配合率70%再生紙、また、環境に優しい植物油インクを使用しています。

発行・編集

三豊市議会・議会広報委員会 〒767-8585 香川県三豊市高瀬町下勝間2373番地1  
TEL.0875-73-3009 FAX.0875-73-3024 E-mail gikai@city.mitoyo.lg.jp